

「話し方」は確実に上達します。

## ▼プロローグ

本書では、教師人生の「どのような場面」で、「どのようなこと」に意識をすれば話し方が向上するかについて極めて具体的に紹介しています。

現在実際に教育現場に立つ者として、私の経験値をもとに書いています。

私は現場で子どもたち相手に授業をしながらうまくいった説明はメモし、うまくいかなかつた説明もメモしてきました。

子どもたちに話した何気ない雑談も、「森先のエピソード」として記録してきました。子どもたちが爆笑したシーンではその爆笑を生んだフレーズのみならず、話の流れや子どものツッコミも同時に書き記しておきました。

今日も子どもたちに話した「森先のエピソード」。子どもたちは心待ちにしてくれています。話し始めるときには拍手ももらいます。ストックしている「エピソード」は三〇を超えた。繰り返し話しているので、古典落語のようなものです(笑)。エピソードを話してはメモ。

体育の学年指導での気づきをメモ。

生徒指導で子どもの心に届いたなあと実感したらメモ。

保護者の方と話して効果的だつたことはメモ。

「気づき」→「メモ」の流れは今も続いています。

そのような生活がキャンプリーダーをしていた学生の頃も含めて、二〇年を越えました。

おかげさまで現在は全国で大勢の教師の方々にセミナー講師としてお話をされる機会にも恵まれ、多くの方に「面白かった」「話に熱中しました」「どうしたら話をするのが上手になりますか?」と声をかけられたり、アンケートにビッシリと感想をいただけるようになりました。

そうして、私の「話し方」に対する意識も、より強くなりました。

いかに伝えるか。

いかに共感してもらうか。

そして、いかに行動してもらうか。

本書は『きれいごと』ではありません。

実感の伴わない「それらしい言葉」を並べた本でもありません。

実際に子どもと会話し、

子どもたちに話し、

保護者の方々と話し、

大勢の聴衆相手に話し、導かれた「事実」を書いています。

本書は、教室でのたった一人の子どもとの会話から、時には千人近い教師の方々に話をしてきた経験をベースに、様々な角度から「話し方」にまつわる「技術・技能」をまとめたものです。

「話し方」は確実に上達します。

ああ、この人のように話せたらなあ、と思つたことはありませんか。

ああ、上手な話の「運び」だなあ、と感心したことはありませんか。

ああ、子どもたちと爆笑している教室つていいなあ、と思つたことはありませんか。

そう思われる人に、今度はあなたがなる番です。

教師にとつて魅力的な「話し方」を身につけることは大きなアドバンテージです。これは紛れもない事実です。

「熱意」にきちんと「技術」を加えて、子どもたちにとつての魅力的な「話し手」となりましょう。

さあ、「言葉」と「話し方」を磨いて毎日の教師人生をピカピカに輝かそうではありますか。

# CONTENTS

プロローグ 4

## CHAPTER 1

### 一瞬で子どもを引き込む話し方は、こうして鍛えろ！

01 「話し手意識」と「取り込む意識」で日々生活する ..... 16

02 達人の話術を取り込め！——6つのフラグと、2つの感動で取り込む.....

03 自分の声を知る ..... 23

04 “読む”から“話し言葉”が蓄積される ..... 28

05 “書く”から話せる ..... 30

06 教室コトバ ..... 32

ここを押さえれば子どもの心をわしづかみ！  
話し方の基礎・基本

CHAPTER

2

## CHAPTER

## 3

## 子どもが熱中する話材とその集め方

01 話す前に話させない ······	36
02 「前振り」はいらない ······	38
03 語尾を意識して話す ······	40
04 $\frac{1}{5}$ パントマイム——ちょっとでいい。「ジェスチャー」をうまくつかう。·····	44
05 「話しかけなくともいい人」にならないために ······	44
06 子どもが一番聞きたい話は○○が出てくる話！ ······	54
07 自分の「子どもの頃の話」がつかえる！ ······	57
08 体験し、記録せよ！ ······	50
09 子どもが一番聞きたくなる話は○○が出てくる話！ ······	61
10 失敗談——実録『恐怖のポケット』·····	65
11 盛り上がり必至の「ツッパンワード」ご紹介！ ······	69
12 何度も同じネタで勝負せよ！ ······	

## 子どもが熱中するエピソードの語り方

- 01 子どもが教師のエピソードに没頭する「布石」は? ..... 72
- 02 具体的に話す ..... 74
- 03 「○○」の多用で描写豊かに語る ..... 76
- 04 エピソードの話し方——ハードルを下げるアイテムとは? ..... 79
- 05 「共通イメージ」をうまく利用する——実録『修学旅行の夜』 ..... 89
- 06 笑いを生む要素① ちょっと多めの繰り返し ..... 89
- 07 笑いを生む要素② 盛り上がる「話題」と「ツツコミ」 ..... 91
- 08 笑いを生む要素③ イニシャル ..... 95
- 09 「ウケない」ことへの対処法 ..... 97

## 子どもが教師を大好きになるおしゃべりの技

## CHAPTER

## 6

01	子どもが「聞きたい！」と思える存在になる ..... 「希望」を語ろう！ 「夢」を語ろう！ ..... 「言葉」は「生き方」 ..... 「NG！」な聞き方 ..... 「話し上手」は「聞き上手」？ ..... 「話しが上手」は「聞き上手」？ ..... 「言葉」には妥協しない ..... 授業では「言葉足らぬ」になれ！ ..... 授業中につかいすぎてはいけない言葉とは？ ..... 授業でクラス全員を一瞬で引き込む話し方	100 103 106 110 113 115 118 120 124 126 128
----	---	---

## 大人数を一瞬で引き込む話し方

01 大人数相手に指導する際の話し方は？	156	04 ワンクッシュョンもツーカッシュョンも置いてみる	130
—集団の処理速度を重視してスマールステップで話す	150	05 授業中、教師は○○○になつてはいけない	134
早いうちに聞き手と「同化」する	160	06 反応しない？！	137
話が長いのは罪	163	07 言葉を削る	140
		08 3秒の沈黙	144
		授業中に話すのは子ども	148
		話し合いの上手なクラス担任はどこを見ているのか	152
		「ワークシート」と話し方	152

## CHAPTER

## 8

05	04	話さない方が良いときもある ····	166
「負の連鎖」対処法 ····	169		
01	「嫌われても話します」 ····	174	
02	宣言して話す ····	176	
03	「マイナスイメージ」を重ねない ····	179	
04	「圧迫言葉」は言わない ····	181	
05	「しないしない」で話さない！ ····	183	
06	説得力は○○で出す！ ····	185	
07	子どもに嘘をつかせない生徒指導の話し方 ····	187	
08	話の「主導権」を握る論の進め方 ····	190	
09	クラスの士気を下げない叱り方とは？ ····	196	

10 「指摘」した後こそ…… 199

## 保護者の心をつかむ話し方

- をしっかりとやること …… 204
- クレームへの対応 …… 206
- 「プラス面」を一つ多く話す …… 208
- コミュニケーションツール「連絡帳」 …… 210
- 懇談会では○○に仕事をさせる …… 214
- 少し長いエピローグ …… 217

CHAPTER

# 1

---

一瞬で子どもを  
引き込む話し方は、  
こうして鍛えろ！

# 「話し手意識」と「取り込む意識」で日々生活する

## ▼すべては話術に結びつく

話し方の上手な人が密かにやっていることは何でしょうか。いや、密かにというより「無意識に」かもしれません。

それは常に「話し手」意識で生きている、ということです。

私たちも教師です。

先ほどの話を言い換えるとこうなります。

「常に子どもに話すなら」という意識で生きている。

博物館や美術館に行くと耳に付ける「音声ガイド」がありますよね。ちょうどあのような機器を付けられれば、子どもたちへの説明に翻訳された話が聞こえてくる……そのような感覚でしょうか。

こうすれば、常にどのような場面でも自分が「当事者」になります。まさに生活しながら話し方修業をしている、という状態です。

## ▼水族館と上野公園にて

それでは実際の場面を見ていきましょう。

水族館に行きます。

電気ウナギのコーナーに面白い説明が書いてあるけれども、これを今、子どもたちを目の前にしたら何て話せばいいだろう。

そのとき、実際に飼育員の方の説明があつたならば最高です。どうやつてお客様を引きつけているのか。または、もつとこう話せば盛り上がるのになあ、などと常に「話し手」というフラグを立てながら聞くことができます。

そうすると何だかワクワクしてきます。

上手な話し手に出会ったときはその話術をいただきます。話し方、話題の提示の順番、ジエスチャーなどをすぐにメモします。

この間は、東京の上野公園で大道芸のパフォーマンスをしている方がいました（京都のヘブンアーティストという制度に登録されている方です）。

有名な映画音楽に合わせてショートストーリーをパントマイムで披露されていました。ユーモアを交えたそのパフォーマンスは道行く人たちの心を捉えます。私も輪の

中に入つて見ていました。笑いや拍手が起ころ、私一人、拍手をしながらメモしていました（笑）。

多くを語らないパントマイムのパフォーマンスの中で、時折出てくるセリフは効果的です。どこで話したのか。そして何といつてもその動き。的を射た動きで多くを表現します。

「話し方」には「動き」も含まれます。

教師は直立不動で話すわけではありません。

話しながら入れるジェスチャーや動作も立派な「話し方」の一部です。

このようにいかに「話し手」意識で毎日を過ごしているかが大切です。  
自分の話し方を向上させたいならば。

### ONE POINT

常に「話し手意識」で生活することが上質な話し手へのアイドリング状態。